インキュベーションプログラム　申請書

申請日：(西暦)　　　年　　月　　日

1. **申請者**
2. **事業化推進責任者**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 （いずれかに○を記入してください） | | Ａ．京都大学における研究成果の事業化を目指す法人の代表取締役 | | | | |  |
| Ｂ．京都大学における研究成果を活用するベンチャー企業の設立を目指す個人 | | | | |  |
| 区分Ａの場合 | フリガナ |  | フリガナ | |  | | |
| 会社名 |  | 代表取締役 氏名 | |  | | |
| 所在地 |  | | | | | |
| 電話番号 |  | E-mail | |  | | |
| 区分Ｂの場合 | フリガナ |  | 電話番号 | |  | | |
| 氏名 |  | E-mail | |  | | |
| 住所 |  | | | | | |
| 職業 （所属/職名） |  | | 京都大学での 勤務開始可能日 (雇用希望の場合のみ) | | (西暦)  　　　年　　月　　日 | |

1. **研究開発責任者**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| フ　リ　ガ　ナ | |  | 所属部局 |  |
| 氏　　　　名 | |  | 職　　　名 |  |
| 連絡先 | 電　　話 |  | | |
| E-mail |  | | |

1. **プロジェクトの概要**

|  |  |
| --- | --- |
| プロジェクト の名称 |  |
| プロジェクト の目的 |  |
| プロジェクト の概要 |  |

1. **事業化を目指す分野　（最も当てはまると考えられるものを選択してください）**

|  |
| --- |
| メディカルデバイス　　再生医療　　創薬　　創薬支援・診断薬　　DDS　　　その他バイオテクノロジー  電気、機械　　　材料、デバイス　　化学　　エネルギー　　農林水産　　その他ものづくり  情報システム　　ソフトウェア　　その他IT系  その他　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　] |

1. **技術シーズ**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 技術シーズ の名称 |  | | | | |
| 内容・特徴 |  | | | | |
| 発明 （周辺・関連特許を含む） | 発明の名称 | 出願番号 特許番号 | 発明者 | 出願人 | 出願日 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 企業とのアライアンスやライセンス契約等の状況 |  | | | | |

1. **事業のビジョン**

|  |  |
| --- | --- |
| ビジネスモデル ・商品・サービス  ・顧客 |  |
| 事業規模、ビジネスプラン ・市場規模、成長性  ・売上計画 |  |
| 競合・優位性 ・先行技術に対する革新性  ・ビジネス分野での優位性 |  |

1. **プロジェクト推進体制**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属 | | | プロジェクトにおける役割 |
| 機関（企業） | 部局（部署） | 職名 |
| 研究開発 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 事業化推進 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

**７．実施計画**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施内容 | 2020 ○月 | ○月 | ○月 | 2021 ○月 | ○月 | ○月 | ○月 | ○月 | ○月 | ○月 | ○月 | ○月 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 年月を研究期間に  変更してください |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**８．資金計画**

**※研究室で費用する経費のみ、計上可能です。会社等、学外の機関、組織にて使用する経費は計上できません。**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 費目 | 研究開発に 係る経費 （千円） | 事業化推進 に係る経費 （千円） | 内訳 | |
| 設備・備品費 **※１** | 0 | 0 | □□装置：○○千円、□□□：○○千円、・・・ | |
| 材料・消耗品費 **※２** | 0 | 0 |  | |
| 人件費・諸謝金 | 0 | 0 | □□員（○人×○か月×○千円／月）：○○千円、 △△謝金（○人×○時間×○千円／時）：○○千円、・・・ | |
| 業務委託費 | 0 | 0 | □□業務委託費：○○千円、・・・ | |
| 旅費 | 0 | 0 | （国内旅費） ［出張目的］（京都－[地名]○千円×○人×○回）：○○千円、・・・ （外国旅費） ［出張目的］（[国名]出張○千円×○人×○回）：○○千円、・・・ | |
| 運搬費 | 0 | 0 |  | |
| 印刷製本費 | 0 | 0 |  | |
| 賃借料 | 0 | 0 | □□施設使用料：○○千円、△△リース料：○○千円、・・・ | |
| 光熱水費 | 0 | 0 |  | |
| その他経費 | 0 | 0 |  | |
| 合計 | (A) | (B) | 助成対象経費 (A)+(B) |  |
| 0 | 0 | 0 千円 |

**※１：**耐用年数1年以上かつ単価10万円以上のもの

**※２：**耐用年数1年未満または単価10万円未満のもの

★合計は、自動では再計算されません。再計算するには、所望の合計欄にカーソルを置いて、F9キーを押下下さい。

**９．知的財産権**

今回の申請に最も関連する基本特許・ノウハウ等の知的財産を記載してください。基本特許・ノウハウ等が、複数ある場合は、表を増やしてください。未出願の場合は、出願番号、出願日、出願人の欄は空欄で構いません。ノウハウ等、特許に代わる知的財産の確保を検討している場合は、産官学連携本部の担当者にご相談ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 発明の名称 |  | | |
| 出願番号 |  | 出願日 | (西暦)　　　　　年　　　月　　　日 |
| 出願人 |  | 発明者 |  |
| 国際ステータス | 有り　・　無し　（有りの場合、主要移行国：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | |
| 発明の概要 |  | | |
|
| 周辺・関連特許 （名称・出願番号・出願日） 及び基本特許に 対する位置づけ （例：機能を追加する特許、用途特許等） |  | | |
|
|
|

**１０．研究費の応募・受入状況**

区分欄に、**①寄附金、②受託・共同研究費、③補助金、④その他研究費**に分類し、番号を記入してください。また、分担者として参画している場合は、研究費欄には**2020年度**に分担者として経費執行できる金額を記載してください。

**【受入中または受入予定の研究費】**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 資金制度/研究費名 | 研究期間 | 研究内容の共通点もしくは相違点及び ＧＡＰファンドプログラムによる助成が必要な理由 | 役割 （代表・分担） |
| 配分機関名 | 研究課題名 | 2020研究費 （千円） |
| ▼区分選択 |  |  | [例]　左記研究課題は・・・・・・・・・・・・を目的としており、・・・・・・・・・・・・・を目的とするGAPファンドプログラムとは異なる。 | ▼役割選択 |
|  |  |  |
| ▼区分選択 |  |  | [例]　左記研究課題は、今回申請しているGAPファンドプログラムと・・・・・・・・という目的は共通しているが、GAPファンドプログラムでは、・・・・・・（試作品作成等）を行い、研究成果の実用性を検証したいため。 | ▼役割選択 |
|  |  |  |
| ▼区分選択 |  |  |  | ▼役割選択 |
|  |  |  |
| 合計（千円） | | | | 千円 |

★合計は、自動では再計算されません。手入力でお願いします。

**【現在申請中の研究費】**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 資金制度/研究費名 | 研究期間 | 研究内容の共通点もしくは相違点及び ＧＡＰファンドプログラムによる助成が必要な理由 | 役割 （代表・分担） |
| 配分機関名 | 研究課題名 | 初年度研究費 （千円） |
| ▼区分選択 |  |  |  | ▼役割選択 |
|  |  |  |
| ▼区分選択 |  |  |  | ▼役割選択 |
|  |  |  |
| ▼区分選択 |  |  |  | ▼役割選択 |
|  |  |  |
| 合計（千円） | | | | 千円 |

★合計は、自動では再計算されません。手入力でお願いします。

※研究体制・実施計画・研究費欄は、必要に応じて行を挿入したり、行幅を変更していただいて構いません。

※研究経費はすべて千円単位で記入してください。

**（申請者区分Aの法人が、申請テーマ以外を対象としてベンチャーキャピタル等から投資を受けている場合のみ記載）**

**１１．申請テーマとベンチャーキャピタル等からの既投資対象テーマとの区分に関する説明**

既にVC等から出資を受けている場合には、下記①及び②に該当する場合のみ申請可能です。

①本プログラムで実施する製品・サービス等の研究開発や事業化活動（申請テーマ）が、VC等から出資を受けた資金で実施している製品・サービス等の研究開発や事業化活動（投資対象テーマ）と明確に区別することができる。

②VC等が出資した資金の使途が、投資対象テーマに限定されている。

本欄では、申請テーマと投資対象テーマの相違点と、VCからの投資金が投資対象テーマに限定されていることについての説明を記載して下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ベンチャーキャピタル等の名称 | 投資実行日 | 投資額（千円） | 申請テーマと既投資対象テーマとの区分及び既投資金の使途が限定されていることに関する説明 |
|  |  |  | [例] 今回の申請テーマは○○に関する研究とA、Bの開発を対象としているが、△△ベンチャーキャピタルから投資済みの資金については、投資契約において■■に関する研究開発と、これを活用した□□サービスの事業化に使途が限定されている。したがって、申請テーマと既投資テーマの区分は明確であり、かつVCからの投資資金は投資対象テーマに限定されている。 |
|  |  |  |  |

※既投資金について、使途が限定されていることが確認できる資料の提出を求める場合があります。

**１２．部局会計担当者（精査・確認者）**

|  |  |
| --- | --- |
| 会計担当部署 |  |
| 会計担当者名 |  |
| 内線番号 |  |
| メールアドレス |  |

会計担当部署にて、事務的な部分の確認をお願いいたします。

●8.資金計画

・助成対象経費か

・費目の区分に誤りがないか

・内訳と費目の計、費目毎の合計

●10.研究費の応募・受入状況

・区分に誤りがないか

・研究費名、配分機関名や金額等が正しいか

その他

○申請書全体を見て、記入漏れがないか

○ファイルを印刷した時に文字が隠れてしまっていないか

以上